やまぐち総合教育支援センター　ふれあい教育センター・子どもと親のサポートセンター

「学級・授業づくりアイディアシート」　（教科・単元名：　　　　　　　　　　　　　　　授業者：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 授業構成  （子どもの目標） | 個や集団への手だて（配慮及び指導・支援） | | |
| 人の関わり（教員） | 物の活用（道具、教材、教具） | 場の設定（場づくり、活動の工夫） |
| 記入例 | ◯注目を集める話し方。注視を確認してから話し始めた。  ●個人への賞賛のアイコンタクトやグッドポーズ。  ●Ａさんと今日の授業の目標を事前に確認。 | ●Ｂさんの机上整理のために、引出内に整理用視覚支援。  ◎注意、注目を集めるための呼び鈴の使用。  ◯個人のノート内容をタブレットとテレビで紹介。 | ◯短冊カードによる前時の想起場面。  ◯ひとりのチャレンジの場面、班でチャレンジの場面。  ◎チャレンジ課題コーナーやヒントコーナーの設置。 |
| 準備  （安心・安全） |  |  |  |
| 導入  （モチベーション） |  |  |  |
| 展開  （主体的な活動） |  |  |  |
| まとめ  （達成感） |  |  |  |

◯：有効だった授業者の手だて　●：個人への手だて　◎：思い付いた手だて

◇：気付きや感想等

所属：

氏名：

【記入上の留意点】

1. 所属と氏名を記入する。
2. 子どもの目標達成のために有効だった授業者の個や集団への手だてについて「人・物・場」の三つの視点に分けて記入する。（**◯印**）
3. そのうち、個人への手だてについての気付きは、●**印**で記入する。（**●印**）
4. 個や集団への手だてで、自分が思い付いた代替のアイディアがあれば、②と同様に記入する。（**◎印**）
5. その他の気付きや授業後の感想については、「◇気付きや感想等」に記入する。
6. 「人・物・場」の視点が複合している場合は、どちらに記入してもよい。

注：このシートは授業を批評するものではありません。授業づくりのアイディアを収集したり、そのアイディアを参考にして、次時の授業の手だてを考えたりするために使用します。建設的で前向きなアイディアの記入をお願いします。